



流行性角結膜炎について

流行性角結膜炎は、アデノウイルスを病原体とする感染症です。主な感染経路は接触感染で、ウイルスに汚染された手指やティッシュペーパー、タオル、洗面器などに触れることにより感染します。

感染力が大変強く、家庭内感染や院内感染を起こすことが多いです。



◎潜伏期間◎ 8日～14日程度です。

◎主な症状◎ 結膜の充血、まぶたのむくみ、涙目、目やにを伴い、耳前リンパ節の腫れと、押すと痛みが出る場合があります。異物感、眼痛を訴えることもあります。

新生児や乳幼児では偽膜性結膜炎を起こし、細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすことがあるので注意する必要があります。

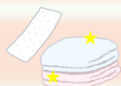
◎治療方法◎ 通常、発病後2～3週間程度で治癒します。特異的な治療法はなく、対症療法が中心となります。

予防の基本は接触感染予防の徹底です！

石鹸でしっかりと手洗いをしましょう



むやみに目を触らないようにしましょう



目薬やタオルなどの目に触れるものは個人用とし、共用は避けましょう

定点 種別	疾患名	状況	38週(9/14～9/20)		39週(9/21～9/27)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	56	2.43	100	4.35
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		7	0.30	7	0.30
	急性呼吸器感染症(ARI)		1127	49.00	677	29.43
小児科	RSウイルス感染症		15	1.07	4	0.29
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	4	0.29	3	0.21
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	29	2.07	11	0.79
	感染性胃腸炎	—	45	3.21	26	1.86
	水痘(みずぼうそう)	—	0	0.00	1	0.07
	手足口病	—	4	0.29	1	0.07
	伝染性紅斑(りんご病)	—	2	0.14	0	0.00
	突発性発しん		13	0.93	13	0.93
	ヘルパンギーナ	—	6	0.43	5	0.36
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	7	1.40	8	1.60
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎		1	0.20	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	1	0.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1	0.20	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし